

いま、新しい
公共を考える!



SDGs時代の 公共調達を考える ～人材不足×就労支援×積算根拠～

共催:A'ワーク創造館

2019年11月9日(土)

14:00~16:30(受付 13:30)

A'ワーク創造館(大阪地域職業訓練センター)
2階 第2・3研修室
住所:大阪市浪速区木津川2-3-8

話 題
提供者

西岡 正次 氏(A'ワーク創造館 就労支援室長)
富田 一幸 氏(エル・チャレンジ 代表理事)
高木 哲次 氏(企業組合伊丹市雇用福祉事業団 代表理事)

参加費

500円(資料代)

定 員

60名(要申込)

要申込
定員
60名

国連が2030年までに達成すべき目標を定めたSDGs。そのターゲットの中に『国内の政策や優先事項に従って持続可能な公共調達の慣行を促進する(12・7)』が定められています。

SDGsに先んじること20年。1999年から大阪府や府内の市町村では、公共調達を活用し、“障がい者等の就職困難者の就労支援”や“働く場の創出”という政策課題に取り組む『行政の福祉化』を推進してきました。

近年は女性の活躍や若者の雇用に取り組む企業を認定し、総合評価入札やプロポーザルで優遇することを国が推進しています。また、福祉目的の随意契約の対象に、生活困窮者の認定事業所を加えたり、価格一辺倒の公共調達が変わりつつあります。

人材不足や人件費高騰で入札が不調に終わるケースも発生するなど、持続可能な公共調達のあり方が問われています。今回の自治フォーラムおおさかでは、『SDGs時代の公共調達』をテーマに、地域の潜在力を活かす“就労支援”や入札時の予定価格を決める“積算基準”などの観点から考えを深めます。



西岡 正次 氏



求めるは雇用対策か？
キャリア支援か？
就労支援か？

富田 一幸 氏



公共調達で
社会的価値の実現へ

高木 哲次 氏



生活困窮者ではなく、
地域の担い手として

NHKドラマ「サイレントブア」のモデルともいわれる豊中市の雇用就労支援施策構築の仕掛け人。対象者を限定しない就労支援、受入先の企業支援などに自治体職員(理事など)として関わる。

現在は、A'ワーク創造館就労支援室長・生活困窮者自立支援全国ネットワーク理事として、就労支援を軸にした交流人口の拡大や自治体連携を推進している。

西成を中心に地域の「生活」「雇用」「コミュニティ」を育むまちづくり事業や就労支援に取り組むナイスを1997年に設立。「働く意欲は働いてこそ」を合言葉に、公共施設等における清掃業務で知的障がい者へ就労訓練を提供するエル・チャレンジの設立に参画。以来2000人以上の訓練修了生を送り出し、700人以上の雇用を実現している。

「伊丹市や川西市で生活困窮者の認定就労訓練事業所として就労支援を展開する「伊丹市雇用福祉事業団」の代表理事。公園清掃や造園、ビルメンテナンス、学校給食などを受託し、困窮者やひきこもりの働ける職場づくりを推進。相談から生活支援、就労支援へとノンストップでつなぐ「伊丹モデル」が注目されている。

申込方法

Web・FAXのどちらかでお申し込みください。

- Webの方は、<https://form.os7.biz/f/2a537e33/>よりお申し込みください
- FAXの方は【第14回自治フォーラム申込】と記載し、①氏名②連絡先(電話番号)をお伝えください。
※会場の都合もあり、事前申込にご協力ください。



連絡先

自治フォーラムおおさか

住所: 大阪市生野区巽南1-2-3

電話: 06-6753-6714

FAX: 06-6563-1159【申込専用】

Mail: lg_forum.osaka@gmail.com

Blog: <http://lgforumosaka.seesaa.net/>